

## ■ 本文

※本文は学習用に作成した文章です。

〔場面〕ある宮中での出来事である。登場するのは、最も身分の高い帝（みかど）、帝にお仕えする大臣（おとど）、大臣に仕える女房（にようぼう）、そして身分の低い従者（ずさ）の四人である。

帝、月のいとおもしろき夜、御簾（みす）の内にて琴を①弾かされたまふ。大臣、御前に参りて、その音をしばし②聞きたまふ。やがて大臣、帝に「この琴の音、世にたぐひなくこそ」と③申したまふ。帝、いたく喜ばせたまひて、「さらば、汝（なんぢ）にこの琴を④賜はむ」と⑤仰せらる。大臣、かしこまりて、これを⑥給はる。

大臣、退（まか）でて後、女房を召して、「この琴、いみじき宝なり。よくよく⑦守れ」と⑧のたまふ。女房、承りて、従者に「この琴を蔵に⑨納めよ」と言ふ。従者、おそれかきこみて、急ぎ蔵に⑩運ぶ。

## ■ 設問 (全23問)

- 傍線部①「弾かされたまふ」の動作主は、帝・大臣・女房・従者のうち誰か。
- 傍線部①の動作主をそのように判断した根拠を、敬語の種類に触れて説明せよ。

使われている敬語は尊敬語・謙讓語・丁寧語のどれか。  
その敬語から、動作主の身分はどう判断できるか。
- 傍線部②「聞きたまふ」の動作主は誰か。
- 傍線部②に使われている敬語の種類（尊敬・謙讓・丁寧）を答えよ。
- 傍線部③「申したまふ」の動作主は誰か。
- 傍線部③について、次の小問に答えよ。

「申す」は尊敬語・謙讓語・丁寧語のどれか。  
この謙讓語から、動作の受け手（言葉をかけられる相手）は誰だとわかるか。
- 傍線部③「申したまふ」と傍線部⑧「のたまふ」は、どちらも大臣の発言を表すが、敬語の働きには違いがある。その違いを、敬意の方向（誰への敬意か）に着目して説明せよ。

傍線部③「申す」は誰への敬意を表すか。  
傍線部⑧「のたまふ」は誰への敬意を表すか。
- 傍線部④「賜はむ」の動作主は誰か。
- 傍線部④「賜はむ」を現代語訳せよ。
- 傍線部④の動作によって、琴を受け取る人物（動作の受け手）は誰か。
- 傍線部⑤「仰せらる」の動作主は誰か。
- 傍線部⑤「仰せらる」の敬語の種類を答え、あわせてこれが誰の動作かを判断した根拠を述べよ。

「仰す」はどのような意味の敬語か。

誰に対して用いられる敬語か。

13. 傍線部⑥「給はる」の動作主は誰か。
14. 傍線部⑥「給はる」を現代語訳せよ。
15. 傍線部⑥の動作で、琴を与える側（動作の相手）は誰か。
16. 傍線部⑦「守れ」は、誰が誰に命じた言葉か。命じた人と命じられた人の両方を答えよ。  
命じた人（話し手）は誰か。  
命じられた人（聞き手）は誰か。
17. 傍線部⑧「のたまふ」の動作主は誰か。
18. 傍線部⑧「のたまふ」の敬語の種類（尊敬・謙譲・丁寧）を答えよ。
19. 傍線部⑨「納めよ」は、誰が誰に命じた言葉か。  
命じた人（話し手）は誰か。  
命じられた人（聞き手）は誰か。
20. 傍線部⑨「納めよ」に敬語が使われていないことから、話し手と聞き手の身分の関係についてどのようなことがわかるか。
21. 傍線部⑩「運ぶ」の動作主は誰か。また、その動作に敬語が付いていない理由を、人物の身分の点から説明せよ。
22. 本文中で、帝の動作には一貫してどのような敬語が用いられているか。種類を答えよ。
23. 【記述】古文で省略された主語を補うとき、「尊敬語」と「謙譲語」はそれぞれどのように手がかりになるか。本文の例を一つずつ挙げながら、四十字以上で説明せよ。